

平成 29 年度

一般廃棄物処理の現況

(平成 31 年 3 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量	1
(2) 各地区の状況	3
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 島根県全体の状況	5
(2) 各地区の状況	6
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 島根県全体の状況	10
(2) 各地区の状況	11
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 島根県全体の状況	24
(2) 各地区の状況	25
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置	29
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口	35
(2) し尿処理の状況	36
(3) し尿処理施設	37
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要	38
(1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要	38
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要	38
7-2 廃棄物処理事業従事職員	42
7-3 委託・許可件数	42
7-4 一般廃棄物処理業者等関係	42
8. ダイオキシン類対策等の状況	43

I 概要編

1. ごみ処理の概要

(1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1～3 に示す。

平成 29 年度における県内のごみ総排出量は 238,971t(うち、生活系 164,053t、事業系 74,918t)であり、前年に比べ約 0.4%の減少となっている。ごみ総排出量のうち、生活系ごみは、減少傾向だが、事業系ごみは、74,000t 前後を変動している。

計画収集人口は 691,933 人(外国人含む)で総人口の 99.98%である。1 人 1 日当たりごみ排出量は 946g、生活系ごみの 1 人 1 日当たりごみ排出量は 650g である。

ごみ総排出量は前年度より減少しているが、1 人 1 日当たりごみ排出量は事業系ごみの影響で増加している。

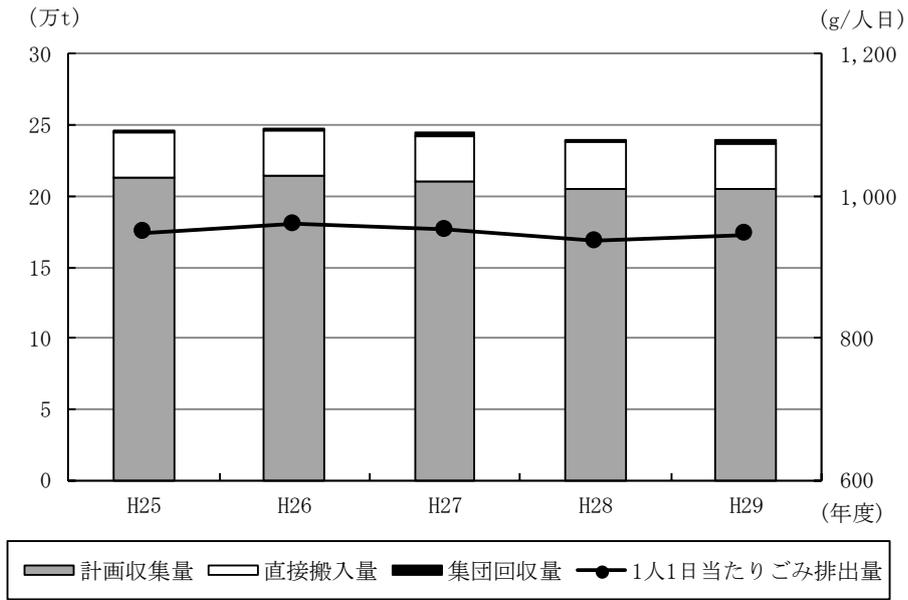
表1-1 ごみ排出量と処理の推移

(単位：t/年)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
総人口(人)	712,345	706,612	701,871	696,915	691,933	
計画収集人口	712,168	706,437	701,699	696,745	691,766	
自家処理人口	177	175	172	170	167	
計画収集率 (%)	99.98	99.98	99.98	99.98	99.98	
ごみ総排出量	計画収集量	213,395	214,039	209,783	205,734	205,049
	直接搬入量	31,089	31,555	32,651	32,514	32,396
	集団回収量	2,063	2,124	2,040	1,792	1,526
	合計	246,547	247,718	244,474	240,040	238,971
	生活系ごみ	173,143	171,762	169,862	166,395	164,053
事業系ごみ	73,404	75,956	74,612	73,645	74,918	
ごみ総処理量	244,343	245,046	241,843	238,073	236,687	
直接焼却	176,811	178,367	178,612	177,005	177,355	
焼却以外	62,930	61,608	58,416	55,446	53,634	
直接埋立	4,602	5,071	4,815	5,622	5,698	
1人1日当たりごみ排出量(g)	948	960	952	944	946	
1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g)	666	666	661	654	650	
災害廃棄物	716	-	-	-	-	

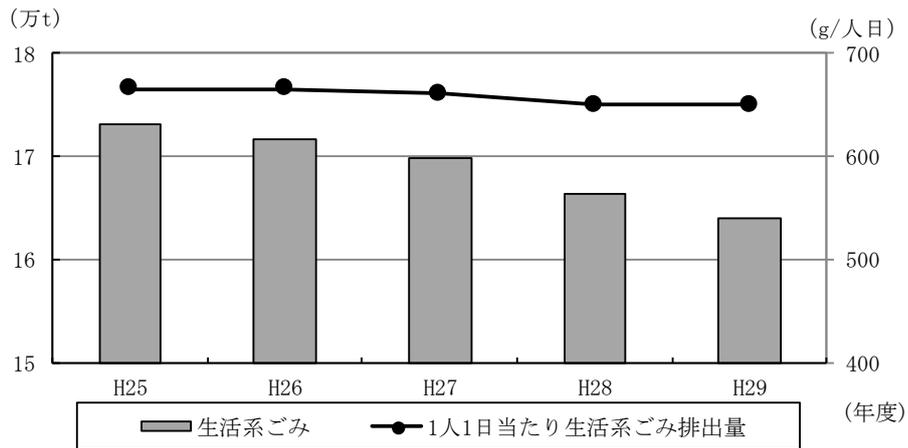
注) 1. 総人口には外国人を含んだ人口

2. 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の外数



注) 1人1日当たりごみ排出量 (g/人日) = 総排出量 / 総人口 / 365日 (366日) × 10⁶

図1-1 ごみ総排出量の推移



注) 1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g/人日) = 生活系ごみ排出量 / 総人口 / 365日 (366日) × 10⁶

図1-2 生活系ごみの排出量の推移

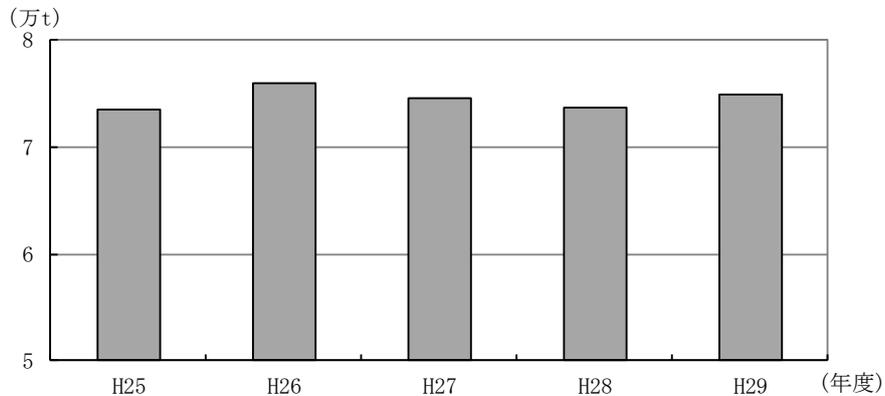


図1-3 事業系ごみの排出量の推移

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②安来市

可燃ごみ処理は、平成 19 年 4 月 25 日より焼却施設を休止し、民間業者へ委託処理している。

当地区のごみ総排出量は 89,695t(うち、生活系 59,585t、事業系 30,110t)、処理量合計は 89,695t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 1,010g と県平均の 946g を上回っている。

<出雲地区>

①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村・旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

③出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 76,447t(うち、生活系 50,875t、事業系 25,572t)、処理量合計は 75,220t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 901g と県平均の 946g を下回っている。

<浜田地区>

①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区のごみ総排出量は 62,814t(うち、生活系 45,355t、事業系 17,459t)、処理量合計は 61,751t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 879g と県平均の 946g を下回っている。

< 隠岐地区 >

① 隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

② 海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③ 西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④ 知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 10,015t (うち、生活系 8,238t、事業系 1,777t)、処理量合計は 10,021t であり、1人1日当たりごみ排出量は 1,350g と県平均の 946g を大きく上回っている。

表1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳 (単位：t/年)

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区	
総人口(人)	243,412	232,403	195,799	20,319	
計画収集人口	243,412	232,403	195,632	20,319	
自家処理人口	0	0	167	0	
ごみ総排出量	計画収集量	81,070	66,786	53,556	3,637
	直接搬入量	8,625	8,369	9,024	6,378
	集団回収量	0	1,292	234	0
	合計	89,695	76,447	62,814	10,015
	生活系ごみ	59,585	50,875	45,355	8,238
事業系ごみ	30,110	25,572	17,459	1,777	
ごみ総処理量	89,695	75,220	61,751	10,021	
直接焼却	68,861	53,567	46,813	8,114	
焼却以外	20,151	17,094	14,852	1,537	
直接埋立	683	4,559	86	370	
1人1日当たりごみ排出量 (g)	1,010	901	879	1,350	

注) 総人口は外国人を含んだ人口

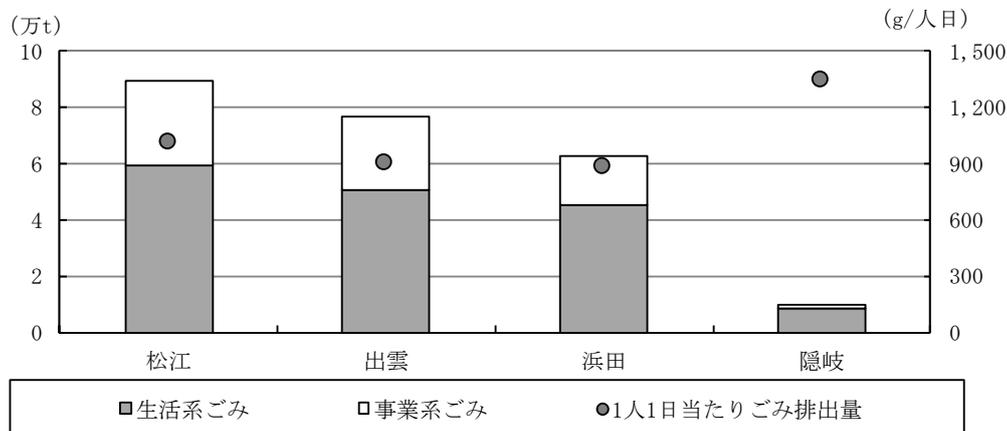


図1-4 ブロック別ごみ排出量

2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

(1) 島根県全体の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

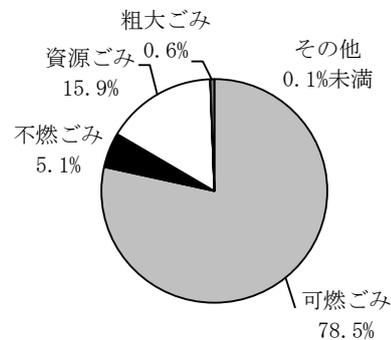
平成29年度に市町村から排出されたごみ量は238,971tであり、収集内訳は、可燃ごみ78.5%、不燃ごみ5.1%、資源ごみ15.9%、粗大ごみ0.6%、その他は0.1%未満であった。

処理内訳では、177,355t(74.9%)は直接焼却され、53,634t(22.7%)は破碎・圧縮等の焼却以外の中間処理、残りの5,698t(2.4%)は直接埋立とされている。

島根県全体で51,533tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると53,059tが資源化された。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

島根県全体		平成29年度
計画収集量		205,049
収集内訳	可燃ごみ	160,883
	不燃ごみ	10,367
	資源ごみ	32,602
	その他	56
	粗大ごみ	1,141
直接搬入量		32,396
集団回収量		1,526
総排出量		238,971
自家処理量		208
処理内訳	中間	
	直接焼却	177,355
	焼却以外	53,634
	最終処分	
	直接埋立	5,698
	焼却残渣	10,062
破碎圧縮残渣	4,511	
資源化	51,533	
処理合計		236,687
リサイクル率 (%)		22.3
1人1日当たりごみ総排出量(g)		946



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-1 ごみの収集内訳

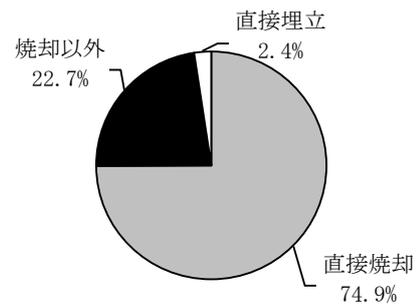


図2-2 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

平成 29 年度に当地区内から排出されたごみ量は 89,695t であり、収集内訳は、可燃ごみ 75.7%、不燃ごみ 1.1%、資源ごみ 22.4%、粗大ごみ 0.8%であった。

処理内訳では、68,861t(76.8%)が直接焼却され、20,151t(22.5%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの 683t(0.8%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 25,647t がごみから分別・資源化された。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

松江地区		平成29年度	
計画収集量		81,070	
収集内訳	可燃ごみ	61,394	
	不燃ごみ	916	
	資源ごみ	18,134	
	その他	0	
	粗大ごみ	626	
直接搬入量		8,625	
集団回収量		0	
総排出量		89,695	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	68,861
		焼却以外	20,151
	最終処分	直接埋立	683
		焼却残渣	1,720
		破碎圧縮残渣	50
	資源化		25,647
処理合計		89,695	
リサイクル率 (%)		28.6	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		1,010	

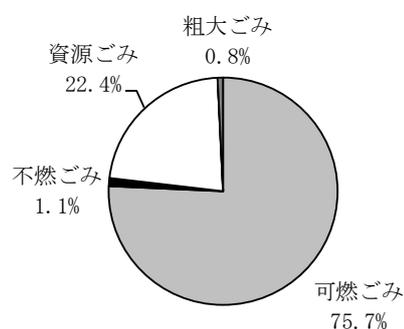


図2-3 ごみの収集内訳

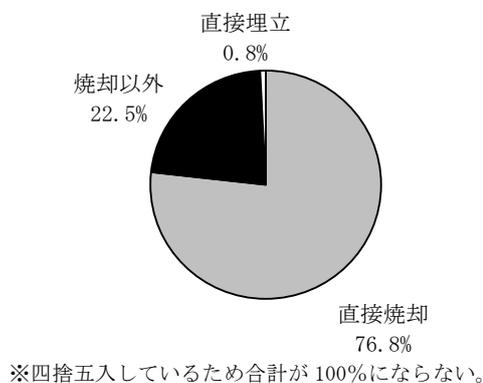


図2-4 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-3、ごみの収集内訳を図2-5、ごみの処理内訳を図2-6に示す。

平成29年度に当地区内から排出されたごみ量は76,447tであり、収集内訳は、可燃ごみ82.2%、不燃ごみ10.3%、資源ごみ7.4%、粗大ごみ0.1%、その他0.1%未満であった。

処理内訳では、53,567t(71.2%)が直接焼却され、17,094t(22.7%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り4,559t(6.1%)は直接埋立とされている。

当地区全体で12,041tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると13,333tが資源化された。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

出雲地区		平成29年度	
計画収集量		66,786	
収集内訳	可燃ごみ	54,880	
	不燃ごみ	6,886	
	資源ごみ	4,955	
	その他	16	
	粗大ごみ	49	
直接搬入量		8,369	
集団回収量		1,292	
総排出量		76,447	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	53,567
		焼却以外	17,094
	最終処分	直接埋立	4,559
		焼却残渣	4,744
		破碎圧縮残渣	2,079
	資源化		12,041
	処理合計		75,220
リサイクル率 (%)		17.4	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		901	

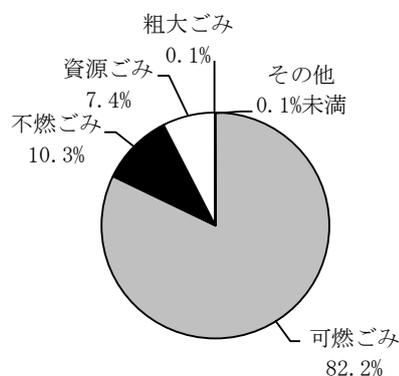


図2-5 ごみの収集内訳

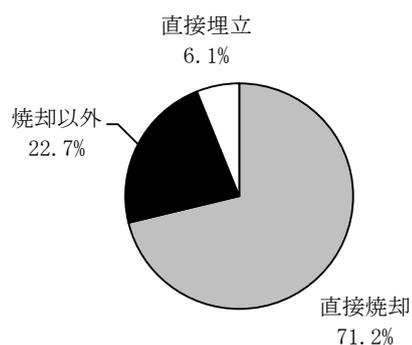


図2-6 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-4、ごみの収集内訳を図2-7、ごみの処理内訳を図2-8に示す。

平成29年度に当地区内から排出されたごみ量は62,814tであり、収集内訳は、可燃ごみ77.4%、不燃ごみ4.6%、資源ごみ17.2%、粗大ごみ0.7%、その他0.1%未満であった。

処理内訳では、46,813t(75.8%)が直接焼却され、14,852t(24.1%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り86t(0.1%)は直接埋立とされている。

当地区全体で13,215tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると13,449tが資源化された。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

浜田地区		平成29年度	
計画収集量		53,556	
収集内訳	可燃ごみ	41,437	
	不燃ごみ	2,455	
	資源ごみ	9,227	
	その他	40	
	粗大ごみ	397	
直接搬入量		9,024	
集団回収量		234	
総排出量		62,814	
自家処理量		208	
処理内訳	中間	直接焼却	46,813
		焼却以外	14,852
	最終処分	直接埋立	86
		焼却残渣	2,334
		破碎圧縮残渣	1,966
	資源化		13,215
処理合計		61,751	
リサイクル率 (%)		21.7	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		879	

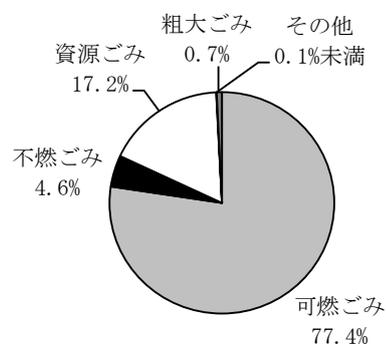


図2-7 ごみの収集内訳

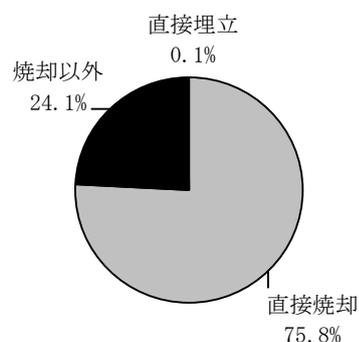


図2-8 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

< 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-5、ごみの収集内訳を図2-9、ごみの処理内訳を図2-10に示す。

平成29年度に当地区内から排出されたごみ量は10,015tであり、収集内訳は、可燃ごみ87.2%、不燃ごみ3.0%、資源ごみ7.9%、粗大ごみ1.9%であった。

処理内訳では8,114t(81.0%)が直接焼却され、1,537t(15.3%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り370t(3.7%)は直接埋立とされている。

当地区全体で630tがごみから分別・資源化された。

表2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

隠岐地区		平成29年度	
計画収集量		3,637	
収集内訳	可燃ごみ	3,172	
	不燃ごみ	110	
	資源ごみ	286	
	その他	0	
	粗大ごみ	69	
直接搬入量		6,378	
集団回収量		0	
総排出量		10,015	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	8,114
		焼却以外	1,537
	最終処分	直接埋立	370
		焼却残渣	1,264
		破碎圧縮残渣	416
	資源化		630
処理合計		10,021	
リサイクル率 (%)		6.3	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		1,350	

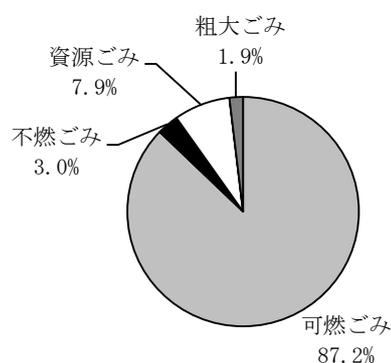


図2-9 ごみの収集内訳

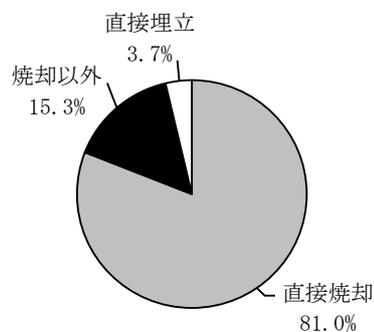


図2-10 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

3. ごみ処理施設の状況

(1) 島根県全体の状況

平成 29 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は 10 施設(処理能力 708.56 t/日)、ごみ燃料化施設は、1 施設(処理能力 30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は 2 施設、資源化等の施設は 18 施設、粗大ごみ処理施設は 14 施設、保管施設は 14 施設である。

埋立中の最終処分場は 26 施設あり、全体埋立容量は 1,914,554m³、残余容量は 617,632m³となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 ^{※1}	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	10	708.56	—
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	18	203.07	—
粗大ごみ処理施設	14	256.9	—
保管施設	14	17,234(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	26	1,914,554 (m ³)	617,632 (m ³)

※1.埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2.保管施設の処理能力は、平成 29 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化溶融	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ	全連続		
炉型式					
施設数	1	6	3	1	11
規模(t/日)	62	75.56	571	30	738.56

※ごみ燃料化施設(RDF)及びガス化溶融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-3、4 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 255 t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 4 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、全体埋立容量は 734,641m³、残余容量は 99,244m³となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	255	—
資源化等の施設	4	96	—
粗大ごみ処理施設	1	59	—
保管施設	2	9,874 (t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	4	734,641 (m ³)	99,244 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、平成 29 年度保管量である。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-5、6 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 52 t/日)で平成 19 年 4 月 25 日より休止中である。

粗大ごみ処理施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 99,304m³、残余容量は 50,668m³となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
粗大ごみ処理施設	3	30.9	—
最終処分場	3	99,304 (m ³)	50,668 (m ³)

表3-6 焼却施設の状況(休止中)

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来市	安来市清瀬 クリーンセンター	52	焼却	准連続

※1. ごみ焼却施設は平成 19 年 4 月 25 日より休止中。

<出雲地区>

①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-7、8に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は61,800m³、残余容量は17,887m³となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	20	—
粗大ごみ処理施設	1	7	—
最終処分場	1	61,800 (m ³)	17,887 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成29年度保管量である。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表 3-9～11 に示す。

雲南市のうち旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村・旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は 2 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 41,300m³、残余容量は 13,172m³となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	764(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	3	41,300 (m ³)	13,172 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 29 年度保管量である。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいし クリーンセンター	15	圧縮・梱包

③出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-12、13 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 218 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等の施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 3 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、全体埋立容量は 522,304m³、残余容量は 244,252m³となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施 設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (年度末)
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	2	48	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	3	2,821(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	4	522,304 (m ³)	244,252 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、平成 29 年度保管量である。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎・圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は 4 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設、保管施設は 4 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 60,076m³、残余容量は 48,535m³となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	4	13.9	—
粗大ごみ処理施設	2	33	—
保管施設	4	1,127 (t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	2	60,076 (m ³)	48,535 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、平成 29 年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物 中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-16、17 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 12 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 14,300m³、残余容量は 3,132m³となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	1.7	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	1,755 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	1	14,300 (m ³)	3,132 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 29 年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	邑智クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-18、19 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 114,900m³、残余容量は 69,981m³となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	98	—
資源化等の施設	1	2.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場 ^{※1}	2	114,900 (m ³)	69,981 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域行政組合	エコクリーンセンター	98	ガス化溶融(シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-20、21 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 62 t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 2 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 149,729m³、残余容量は 21,286m³となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	62	—
資源化等の施設	2	22.1	—
保管施設	1	823(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	2	149,729 (m ³)	21,286 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 29 年度保管量である。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62	焼却	全連続

<隠岐地区>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

海士町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 7t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 12,000m³、残余容量は 4,792m³となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	70 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	1	12,000 (m ³)	4,792 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 29 年度保管量である。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町 清掃センター	7	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-24、25 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 24,200m³、残余容量は 11,752m³となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	10	—
最終処分場	2	24,200 (m ³)	11,752 (m ³)

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町 ごみ焼却場清美苑	10	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	1.56	—

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知夫村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-28、29に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力25t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は80,000m³、残余容量は32,931m³となっている。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	25	—
資源化等の施設	1	2.7	—
最終処分場	1	80,000 (m ³)	32,931 (m ³)

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

4. ごみ減量化・資源化状況

(1) 島根県全体の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

平成29年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は51,533tであった。その内、紙類が14,804t(28.7%)で最も多く、次に、熔融スラグ9,100t(17.7%)、固形燃料6,300t(12.2%)であった。

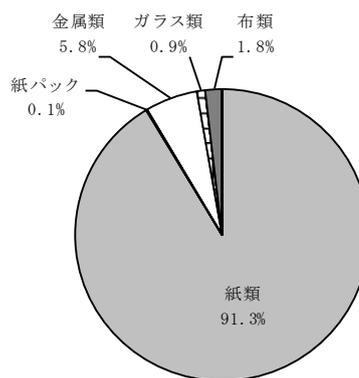
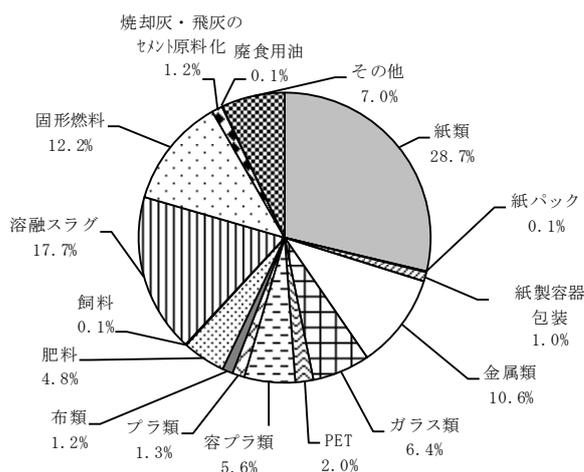
また、集団回収により資源化された量は1,526tであり、紙類が1,394t(91.3%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

(単位：t/年)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	14,804	56	524	5,462	3,293	1,029	2,902	692	602
集団回収	1,394	2	0	88	14	0	0	0	28

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	2,461	54	9,100	6,300	613	36	3,605	51,533
集団回収	-	-	-	-	-	0	0	1,526



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳

図4-2 集団回収の内訳

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3に示す。

平成29年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は25,647tであった。その内、紙類が6,397t(24.9%)で最も多く、次に、溶融スラグ6,671t(26.0%)、固形燃料2,479t(9.7%)であった。

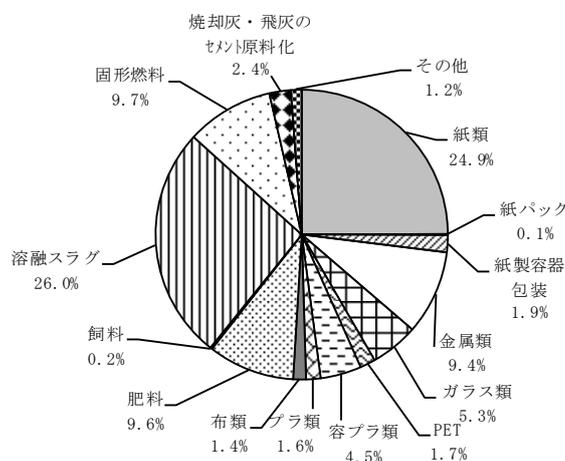
松江地区では集団回収が実施されていない。

表4-2 資源化の状況

(単位：t/年)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	6,397	31	488	2,409	1,366	439	1,162	412	361

区分	肥料	飼料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	2,461	54	6,671	2,479	613	0	304	25,647



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

<出雲地区>

当地区における資源化の状況を表 4-3、市町村による資源化の内訳を図 4-4、集団回収の内訳を図 4-5 に示す。

平成 29 年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 12,041t であった。その内、紙類が 3,394t (28.2%) で最も多く、次に固形燃料 3,379t (28.1%)、その他 2,801t (23.3%) であった。

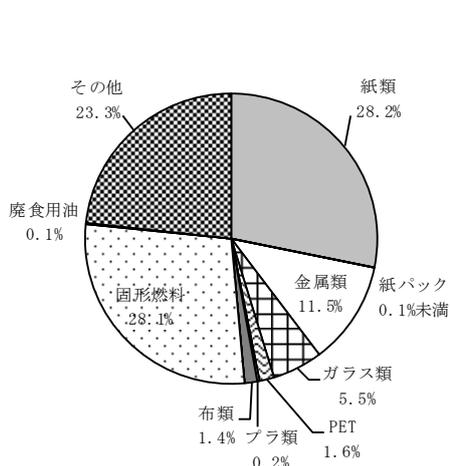
また、集団回収により資源化された量は 1,292t であり、紙類が 1,195t (92.5%) とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

(単位：t/年)

区 分	紙類	紙パッ	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類	布類
市町村	3,394	1	0	1,387	668	197	0	28	169
集団回収	1,195	1	0	76	7	0	0	0	13

区 分	肥料	飼料	溶融 スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰 のセメント 原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	0	3,379	0	17	2,801	12,041
集団回収	-	-	-	-	-	0	0	1,292



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-4 市町村による資源化の内訳

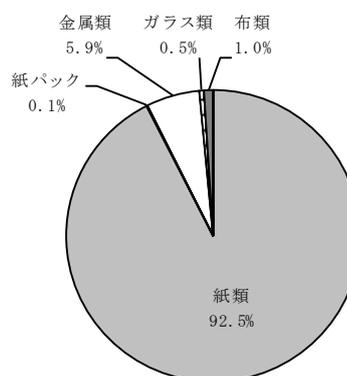


図4-5 集団回収の内訳

<浜田地区>

当地区における資源化の状況を表 4-4、市町村による資源化の内訳を図 4-6、集団回収の内訳を図 4-7 に示す。

平成 29 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 13,215t であった。その内、紙類が 4,756t (36.0%) で最も多く、次に溶融スラグ 2,429t (18.4%)、容器包装プラ 1,740t (13.2%) であった。

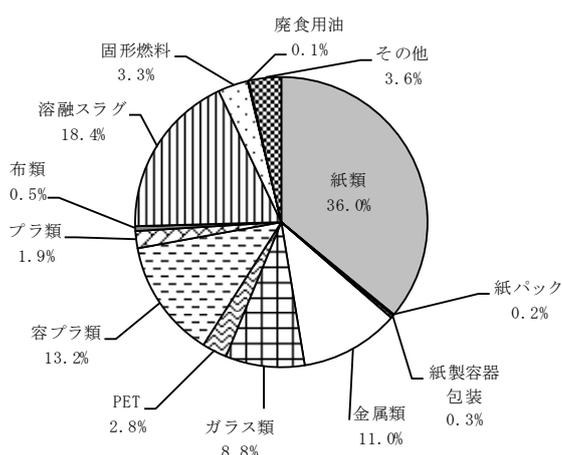
また、集団回収により資源化された量は 234t であり、紙類が 199t (85.1%) とほとんどを占めている。

表4-4 資源化の状況

(単位：t/年)

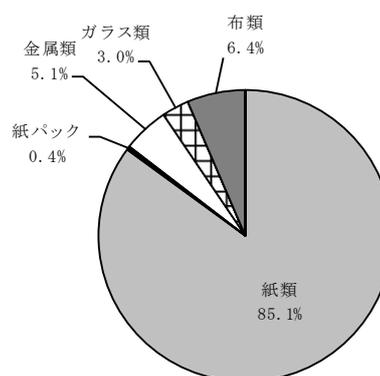
区 分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	4,756	24	36	1,452	1,157	366	1,740	252	72
集団回収	199	1	0	12	7	0	0	0	15

区 分	肥料	飼料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	2,429	442	0	14	475	13,215
集団回収	-	-	-	-	-	0	0	234



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-6 市町村による資源化の内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-7 集団回収の内訳

< 隠岐地区 >

隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-8 に示す。

平成 29 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 630t であった。その内、紙類が 257t (40.8%) で最も多く、次に金属類が 214t (34.0%)、ガラス類 102t (16.2%) であった。

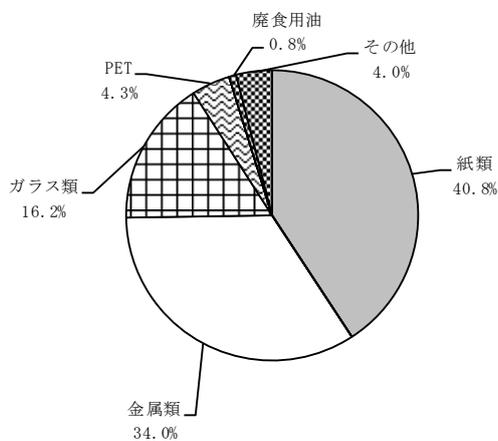
なお、隠岐地区では集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

(単位：t/年)

区 分	紙類	紙ハック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	257	0	0	214	102	27	0	0	0

区 分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	0	0	0	5	25	630



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-8 市町村による資源化の内訳

5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

平成30年度（平成30年12月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況（生活系、事業系）について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

不法投棄防止事業に取り組んでいる自治体が11自治体と最も多く、次に生ごみ堆肥化装置の設置補助が5自治体となっている。予算については、パンフレットの作成、イベント等の開催、不法投棄防止関連事業が多い。

表5-1 平成30年度（平成30年12月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業

事業名	事業の概要	市町村	当初予算額(千円)
パンフレットの作成	子供用パンフレット、手数料改定チラシ、ごみ減量化・3R推進パンフレット作成、収集カレンダー等	松江市 出雲市 大田市 江津市 津和野町	2,138
廃棄物減量化等協議会開催	生活環境保全推進委員会、廃棄物減量等推進協議会等	松江市 浜田市 益田市 隠岐の島町	461
リサイクルバザーの開催	グリーンピース DE 護美の市	松江市	65
イベント等の開催	環境関係イベントの開催 古着市の開催	松江市 安来市 出雲市 津和野町	3,920
資源ごみ回収団体への助成	住民団体が行う資源回収への助成	出雲市 益田市 津和野町	3,358
資源ごみ回収機器の貸出	選定枝粉碎機の貸出	出雲市	20
不法投棄防止関連事業	看板設置、パトロール等	松江市 安来市 奥出雲町 飯南町 出雲市 大田市 美郷町 江津市 隠岐の島町	5,825
生ごみ堆肥化装置の設置補助	生ごみ堆肥化容器、電気式生ごみ処理器への補助	大田市 川本町 益田市 津和野町 西ノ島町	659
その他	ごみ減量化教室運営委託料、ごみ減量化市道委託料	出雲市	1,944
合 計		-	18,390

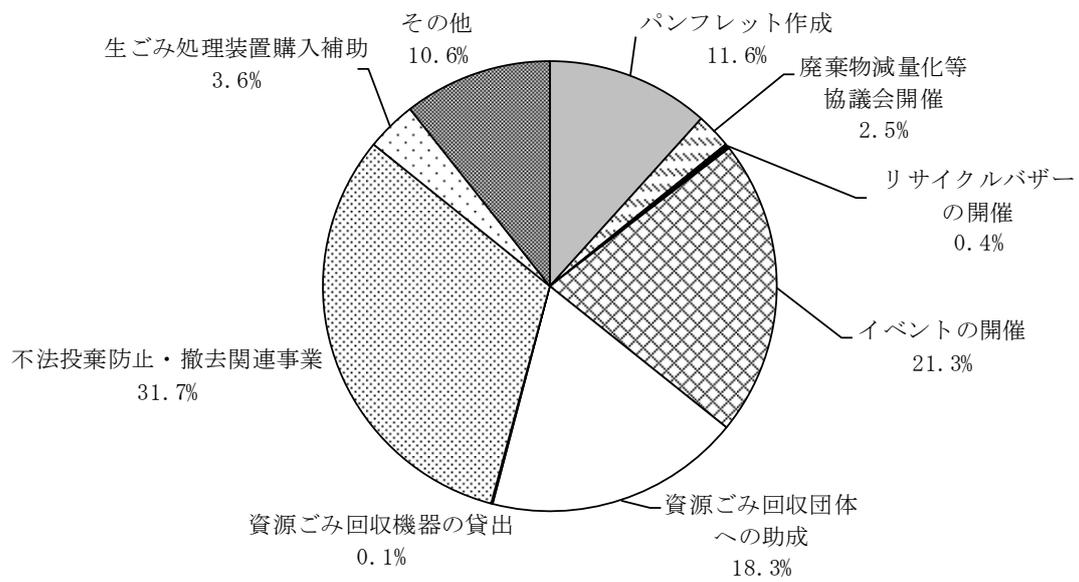


図5-1 平成29年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成29年度(平成29年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
松江市		可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45 L	13/27/40/60 円	高密度ポリエチレン
		不燃	透明(水色)	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
		資源	透明	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市		可燃	半透明(緑色) シール(粗大)	10/20/50L	21.6/32.4/43.2 円 シール 250 円	中密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青色) シール(粗大)	5/10/20/50L	10.8/21.6/32.4/ 43.2 円 シール 250 円	低密度ポリエチレン
		資源(びん)	半透明(橙色)	10/20L	10.8/16.2 円	低密度ポリエチレン
		資源(缶)	半透明(灰色)	20/50L	16.2/21.6 円	
資源(ペット・プラ)	半透明(水色)	20/50L	16.2/21.6 円			
出雲市		可燃	白色(緑字)	10/20/40L	15/30/51 円	高密度ポリエチレン
		不燃(破碎ごみ)	黄色(緑字)	20/40L	30/51 円	低密度ポリエチレン
		不燃(埋立ごみ)	赤色(緑字)			
		資源	透明(青字)	20/40L	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市		可燃	半透明(黄色)	800×650mm 700×550mm 600×500mm	60 円 40 円 30 円	高密度ポリエチレン
		不燃	袋に入らない物 半透明(緑色)	シール 2 枚 (大)850×650mm (小)700×550mm	60 円 50 円 30 円 60 円	
		資源(容器包装プラのみ)	袋に入らない物 透明	シール 1 枚 860×650mm 690×540mm	20 円 15 円	高密度ポリエチレン
		大田市	可燃	半透明(黄)	20/30/45L	25/31/51 円
不燃	半透明(白) シール(粗大)	20/30/45L	25/31/51 円 515 円	低密度ポリエチレン		
資源	無色透明	30/45L	16/21 円	低密度ポリエチレン		
安来市		可燃	半透明(黄)	15/30/45L	25/36/46 円	高密度ポリエチレン
		不燃	透明	15/30/45L	25/31/36 円	低密度ポリエチレン
		資源	透明	15/30/45L	25/31/36 円	低密度ポリエチレン
江津市		可燃・不燃	白 シール(粗大)	15/30/45L	15/30/45 円 シール 100 円	高密度ポリエチレン
		資源	指定なし			
雲南市 (雲南エネルギーセンター)		可燃	半透明(オレンジ)	20/40L(手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン厚さ 0.025mm
		不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン厚さ 0.04mm
		資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン厚さ 0.04mm
雲南市 (いしクリーンセンター)		可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
奥出雲町		可燃	乳白色(青字)	30/45 L	25/46 円	高密度ポリエチレン
		不燃	透明(赤字)	30/45 L		低密度ポリエチレン
		資源	透明	30/45 L		低密度ポリエチレン
飯南町		可燃	黄土色	タテ 650mm × ヨコ 800mm (45L)	64 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	タテ 650mm × ヨコ 800mm (45L)	/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	タテ 650mm × ヨコ 800mm (45L)	43 円	低密度ポリエチレン
川本町		可燃	半透明(白色)	15/35 L	32.4/64.8 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄色)	25 L	32.4 円	高密度ポリエチレン
		資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.2 円	ビ ン : 低密度ポリエチレン その他: 高密度ポリエチレン
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162 円/1シート 5枚	紙		

注) 1. 材質は市町村の調査結果を記載している。

2. 一定枚数無料配布している自治体も含む。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成29年度(平成29年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
美郷町	可燃	可燃	半透明(白)	15/35 L	32.4/64.8円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄色)	25 L	32.4円	高密度ポリエチレン
	資源	(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.2円	ビン: 低密度ポリエチレン その他: 高密度ポリエチレン
		(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
		(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162円/1シート5枚	紙		
邑南町	可燃	可燃	半透明(白)	15/35 L	32.4/64.8円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄色)	25 L	32.4円	高密度ポリエチレン
	資源	(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.2円	ビン: 低密度ポリエチレン その他: 高密度ポリエチレン
		(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
		(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162円/1シート5枚	紙		
津和野町	可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン	
	資源(容器プラ)	半透明(桃色字)	490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン	
(商品プラ)	半透明(黄字)	460×970mm				
(缶類)	透明(黒字)	(ビン)400×750mm				
(びん類)	透明(青字)					
吉賀町	可燃	半透明	450×800mm 360×800mm 360×600mm	50円 33.3円 25円	高密度ポリエチレン	
	資源	半透明	650×800mm	50円	高密度ポリエチレン	
海士町	可燃	チケット		70円	紙	
	不燃	チケット		70円	紙	
	資源	チケット 半透明(黄)	800×600mm	70円 70円	紙 ポリエチレン(酸化鉄配合)	
知夫村	可燃	透明(黄色)	15/20/30 L	30/60/100円	フェノキサイト PE	
	不燃	チケット券		200/1000円券		
	資源(ビン)	透明(黄色)	30 L	140円	フェノキサイト PE	
	資源(カン)	〃	45 L	140円		
資源(ペット)	〃	30/45 L	70/140円			
西ノ島町	可燃	半透明(黄色)	30/45L	5/82円	低密度ポリエチレン	
	不燃	半透明(青色)	30/45L	55/82円	低密度ポリエチレン	
		袋に入らないもの	粗大ゴミシール	55/82円 820円		
隠岐の島町	可燃	チケット(2色刷)	1容器1枚10kg以内	100円	上質紙玉紙+針金#30 (115×65mm)	
	不燃	チケット(2色刷)	1容器1枚10kg以内	100円	上質紙玉紙+針金#30 (115×65mm)	
	資源	半透明	550×690mm	無料	高密度ポリエチレン	
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネキター センター)	可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45円	高密度ポリエチレン	
	不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43円	低密度ポリエチレン	
	資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43円	低密度ポリエチレン	
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリン センター)	可燃	半透明(黄)	30/45 L 20/40 L	43/64円 30/45円	高密度ポリエチレン	
	不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43円	低密度ポリエチレン	
	資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43円	低密度ポリエチレン	
鹿足郡不燃物 処理組合	不燃	半透明	45 L	50円	高密度ポリエチレン	

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成29年度(平成29年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
松江市		可燃	半透明(白)	30/45 L	設定なし	炭酸カルシウム入りポリエチレン
		不燃	透明(黄)	30/45 L	設定なし	低密度ポリエチレン
浜田市		可燃	半透明(黄色)	50 L	86.4 円	中密度ポリエチレン
		不燃	半透明(桃色)	50 L	86.4 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(茶色)	50 L	43.2 円	低密度ポリエチレン
出雲市		可燃	白色(赤字)	40 L	123 円	高密度ポリエチレン
		不燃(破砕ごみ)	黄色(赤字)	40 L	123 円	低密度ポリエチレン
		不燃(埋立ごみ)	赤色(赤字)	40 L	123 円	低密度ポリエチレン
益田市		可燃	半透明(青色)	800×650mm	100 円	高密度ポリエチレン
大田市		可燃	半透明(緑)	45 L	103 円	高密度ポリエチレン
安来市		可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45 L	25/36/46 円 +事業用収集券 102 円	高密度ポリエチレン
		不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45 L	25/31/36 円 +事業用収集券 102 円	低密度ポリエチレン
江津市		可燃	白	15/30/45L	15/30/45 円	高密度ポリエチレン
雲南市 (雲南エネルギーセンター)		可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン厚さ 0.025mm
		不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン厚さ 0.04mm
		資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン厚さ 0.04mm
雲南市 (いいしクリーンセンター)		可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
飯南町		可燃	黄土色	タテ 650mm×ヨコ 800mm(45L)	64 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	タテ 650mm×ヨコ 800mm(45L)	43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	タテ 650mm×ヨコ 800mm(45L)	43 円	低密度ポリエチレン
津和野町		可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
		資源(容器プラ) (商品プラ) (缶類) (びん類)	半透明(桃色字) 半透明(黄字) 半透明(黒字) 半透明(青字)	490×800mm 460×970mm 400×750mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
		可燃	チケット		70 円	紙
		不燃	チケット		70 円	紙
海士町		資源	チケット 半透明(黄)	800×600 mm	70 円	紙 ポリエチレン(酸化鉄配合)
		可燃	半透明(黄色)	30/45L	55/82 円	低密度ポリエチレン
		可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギーセンター)		不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		可燃	半透明(黄)	30/45 L	43/64 円	高密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーンセンター)		不燃	半透明(青)	20/40 L	30/45 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		可燃	半透明(黄)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ堆肥化装置の設置補助(平成30年度)

市町村名	補助基準	備 考
益田市	補助率 1/2、限度額 5 千円 補助率 1/2、限度額 15 千円	コンポスト 電気式
大田市	補助率 1/2、限度額 3 千円	コンポスト、電気式とも同一 1 世帯当たり 2 基まで
川本町	補助率 1/2、限度額 3 千円 補助率 1/3、限度額 20 千円	電源なし堆肥化装置 電源あり堆肥化装置
津和野町	補助率 1/2、限度額 3.5 千円(100 円未満切捨て) 補助率 1/3、限度額 20 千円(100 円未満切捨て)	生ごみ処理容器(1 世帯当たり 2 基) 電気式生ごみ処理機(1 世帯当たり 1 基)
西ノ島町	補助率 1/2、限度額 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、限度額 10 千円(町外購入)	

6. し尿処理の概要

(1) 衛生処理人口

島根県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 29 年度における県内の水洗化人口は、566,225 人(82%)、非水洗化人口は、125,708 人(18%)である。水洗化人口は前年の 0.1%増で、平成 25 年度と比べると 0.9%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
総人口(人)	712,345	706,612	701,871	696,915	691,933
水洗化人口(人)	561,292	563,564	564,615	565,718	566,225
下水道人口(人)	279,332	281,751	285,869	288,694	296,085
コミュニティ・プラント人口(人)	4,488	4,489	4,415	4,288	4,154
浄化槽人口(人)	277,472	277,324	274,331	272,736	265,986
非水洗化人口(人)	151,053	143,048	137,256	131,197	125,708
計画収集人口(人)	146,963	140,380	134,437	128,878	123,584
自家処理人口(人)	4,090	2,668	2,819	2,319	2,124
総処理量(kL/年)	279,924	284,211	270,749	265,375	263,341
し尿計画処理量(kL/年)	100,268	94,778	92,286	88,583	85,035
自家処理量(kL/年)	3,321	1,622	2,319	1,374	1,257
浄化槽汚泥計画処理量(kL/年)	176,335	187,811	176,144	175,418	177,049

注) 総人口に外国人含む。

総人口=水洗化人口+非水洗化人口

水洗化人口=下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口

非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

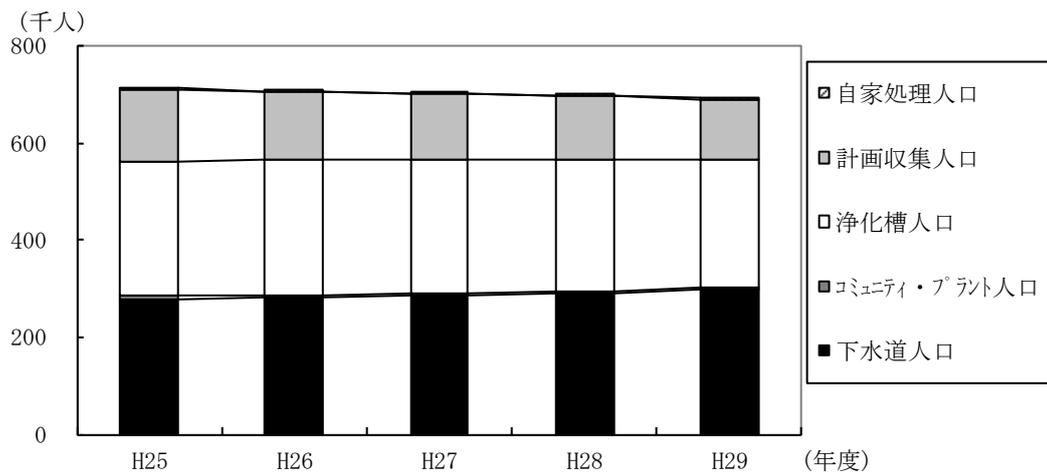
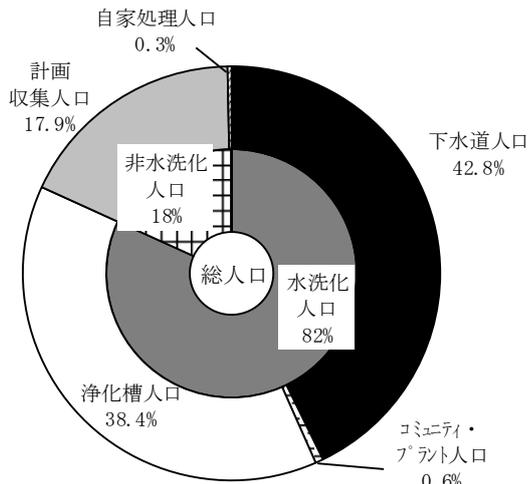


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口 (外国人含む) = 水洗化人口 + 非水洗化人口
 水洗化人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口
 非水洗化人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

平成29年度における県内の総処理量は、263,341kLで、前年より約0.8%減少している。

内訳は浄化槽汚泥計画処理量が67.2%、し尿計画処理量が32.3%、自家処理量0.5%となっている。

1人1日当たりし尿計画処理量は1.89L/人日、1人1日当たり浄化槽汚泥処理量は1.80L/人日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		平成29年度
総処理量 (kL/年)		263,341
内訳	し尿計画処理量	85,035
	自家処理量	1,257
	浄化槽汚泥計画処理量	177,049
し尿計画処理量 (kL/年)		85,035
内訳	下水道投入	6,549
	し尿処理施設	78,462
	農村還元	24
浄化槽汚泥計画処理量 (kL/年)		177,049
内訳	下水道投入	23,010
	し尿処理施設	153,877
	農村還元	162
1日1人当たりし尿計画処理量 (L/人日)		1.89
1日1人当たりし尿排出量 (L/人)		1.88
1日1人当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日)		1.80

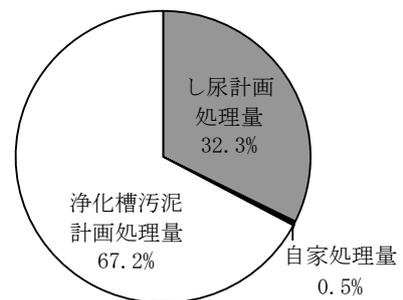


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kL/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量
 1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365日 × 10³
 1人1日当たりし尿排出量 (L/人日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365日 × 10³
 1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 365日 × 10³

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

平成 29 年度の県内のし尿処理施設数は 11 施設（処理能力 759.4kL/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 9 施設（計画最大汚水量 2,368m³/日）である。

浄化槽設置基数は合計 70,209 基で、去年より 700 基増加している。

平成 29 年度の県内の浄化槽設置基数(個人設置型)は 577 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設							コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	膜分離	高負荷膜分離	その他	合計	
施設数	1	1	4	1	3	1	11	9
規模(kL/日)	40	27	224	193	204	71.4	759.4	2,368(m ³ /日)

注 1) 好二段……好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式
 高負荷……高負荷脱窒素処理方式
 一次処理……一次処理後に下水道に放流
 標脱……標準脱窒素処理方式(旧低二段)
 膜分離……膜分離処理方式

注 2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m³/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設置基数	69,268	736	108	97	70,209

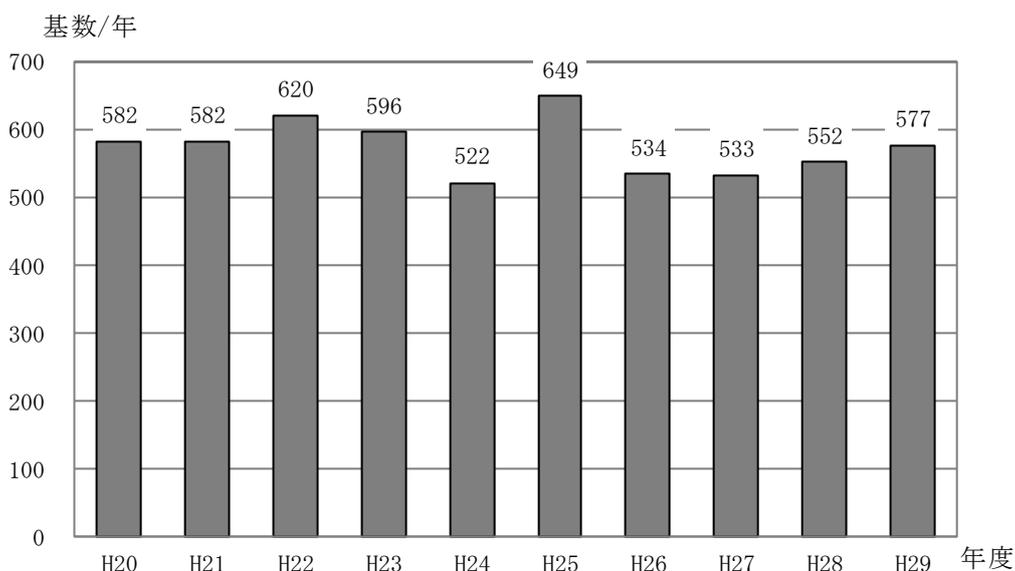


図6-4 浄化槽設置基数(個人設置型)の推移

7. 一般廃棄物処理事業の実態

7-1 廃棄物処理事業経費の概要

(1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要

島根県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

平成 29 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 14,337,887 千円であり、前年より 8.5%増加している。経費の内訳はごみ処理が 12,758,773 千円、し尿処理が 1,579,114 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

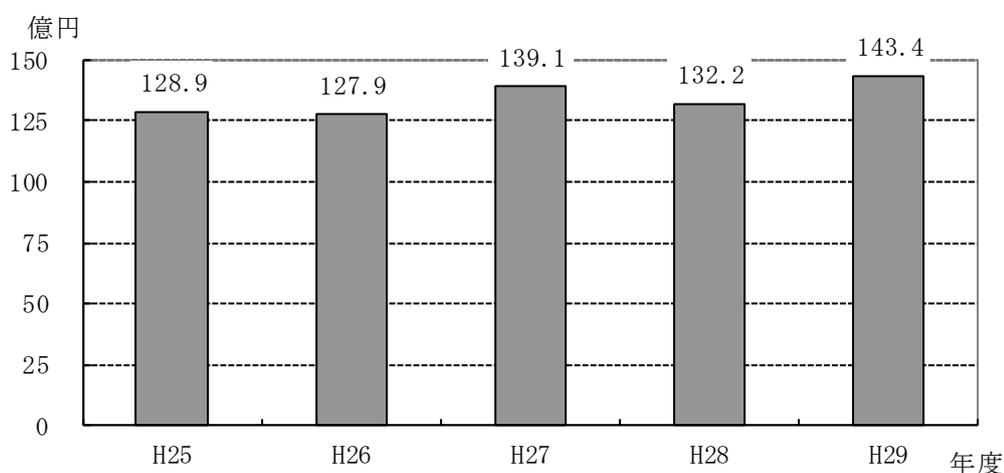


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(島根県全体)

(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、出雲地区が 3,949,037 千円 (31.0%) と最も多く、次いで浜田地区 3,812,973 千円 (29.9%)、松江地区 3,263,241 千円 (25.6%)、隠岐地区 1,733,522 千円 (13.6%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(島根県全体)

(平成 29 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	85,547	0	2,105,138	2,066,965	2,078,030	1,121,657	7,379,466	12,758,773
し尿	18,623	0	51,200	202,945	316,801	40,481	1,265,865	1,579,114
計	104,170	0	2,156,338	2,269,910	2,394,831	1,162,138	8,645,331	14,337,887

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(島根県全体)

(平成 29 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	〔組合 分担金〕	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				〔組合 分担金〕	調査 研究費			小計
	収集運 搬施設	中間処理 施設	最終処 分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	1,582,430	66,355	1,447	245,983	8,837	1,896,215	1,406,580	196,637	971,626	462,918	12,162	2,107,223	4,529,974	94,294	395,794	2,069,193	78,252	10,255,460	607,098	12,758,773
し尿	22,122	73,386	0	11,350	0	0	106,858	241,869	42,054	299,722	0	0	58,299	780,054	4,382	10,693	316,801	2,873	1,439,946	32,310	1,579,114
計	22,122	1,655,816	66,355	12,797	245,983	8,837	2,003,073	1,648,449	238,691	1,271,348	462,918	12,162	2,165,522	5,310,028	98,676	406,487	2,385,994	81,125	11,695,406	639,408	14,337,887

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

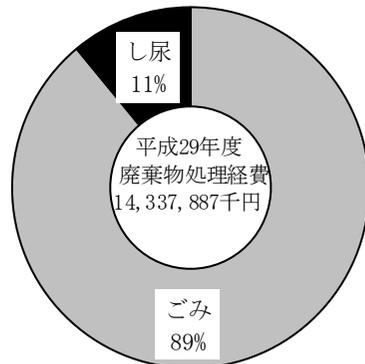


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳 (島根県全体)

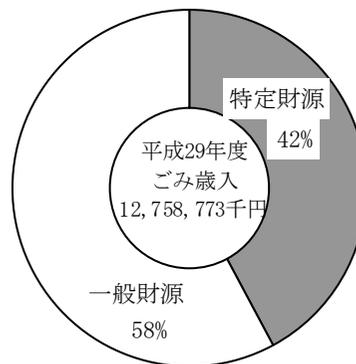


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(島根県全体)

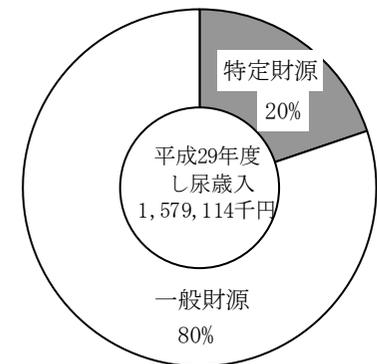


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳 (島根県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村)

(平成 29 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
ごみ	54,429	0	2,105,138	1,842,974	998,769	7,263,840	12,265,150
し尿	18,623	0	51,200	182,921	30,771	1,255,825	1,539,340
計	73,052	0	2,156,338	2,025,895	1,029,540	8,519,665	13,804,490

表 7-4 歳出の内訳(市町村)

(平成 29 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				調査 研究費	小計			
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	1,569,333	66,355	1,447	183,490	8,837	1,829,462	1,180,640	195,829	694,767	452,284	12,162	1,922,946	3,360,580	87,512	132,104	2,069,193	279	10,108,296	327,392	12,265,150
し尿	22,122	73,386	0	11,350	0	0	106,858	190,285	42,054	251,958	0	0	49,570	569,063	0	10,693	316,801	0	1,430,424	2,058	1,539,340
計	22,122	1,642,719	66,355	12,797	183,490	8,837	1,936,320	1,370,925	237,883	946,725	452,284	12,162	1,972,516	3,929,643	87,512	142,797	2,385,994	279	11,538,720	329,450	13,804,490

表 7-5 歳入の内訳(事務組合)

(平成 29 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	31,118	0	0	223,991	2,078,030	122,888	115,626	2,571,653
し尿	0	0	0	20,024	316,801	9,710	10,040	356,575
計	31,118	0	0	244,015	2,394,831	132,598	125,666	2,928,228

表 7-6 歳出の内訳(事務組合)

(平成 29 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費											その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				調査 研究費	小計		
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	13,097	0	0	62,493	75,590	225,940	808	276,859	10,634	0	184,277	1,169,394	6,782	263,690	77,973	2,216,357	279,706	2,571,653
し尿	0	0	0	0	0	0	51,584	0	47,764	0	0	8,729	210,991	4,382	0	2,873	326,323	30,252	356,575
計	0	13,097	0	0	62,493	75,590	277,524	808	324,623	10,634	0	193,006	1,380,385	11,164	263,690	80,846	2,542,680	309,958	2,928,228

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）

（平成 29 年度, 単位：千円）

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
松江地区	0	0	9,700	787,452	0	384,158	2,081,931	3,263,241
出雲地区	47,229	0	738,038	804,647	558,519	402,404	1,956,719	3,949,037
浜田地区	31,118	0	81,200	397,850	1,519,511	317,800	2,985,005	3,812,973
隠岐地区	7,200	0	1,276,200	77,016	0	17,295	355,811	1,733,522
合計	85,547	0	2,105,138	2,066,965	2,078,030	1,121,657	7,379,466	12,758,773

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）

（平成 29 年度, 単位：千円）

歳出	建設・改良費								処理及び維持管理費												その他	合計
	工事費				調査費	(組合 分担金)	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				(組合 分担金)	調査 研究費	小計			
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他						
松江地区	0	50,322	0	1,447	5,994	0	57,763	496,437	114,733	97,825	57,026	5,946	822,094	1,541,324	18,809	12,618	0	279	3,167,091	38,387	3,263,241	
出雲地区	0	189,706	39,948	0	183,889	0	413,543	331,647	7,549	618,841	111,068	0	622,277	1,633,390	17,067	23,191	558,519	0	3,365,030	170,464	3,949,037	
浜田地区	0	45,773	12,275	0	56,100	8,837	114,148	408,679	61,520	180,842	287,813	0	632,490	1,261,773	52,274	359,985	1,510,674	77,973	3,323,349	375,476	3,812,973	
隠岐地区	0	1,296,629	14,132	0	0	0	1,310,761	169,817	12,835	74,118	7,011	6,216	30,362	93,487	6,144	0	0	0	399,990	22,771	1,733,522	
合計	0	1,582,430	66,355	1,447	245,983	8,837	1,896,215	1,406,580	196,637	971,626	462,918	12,162	2,107,223	4,529,974	94,294	395,794	2,069,193	78,252	10,255,460	607,098	12,758,773	

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

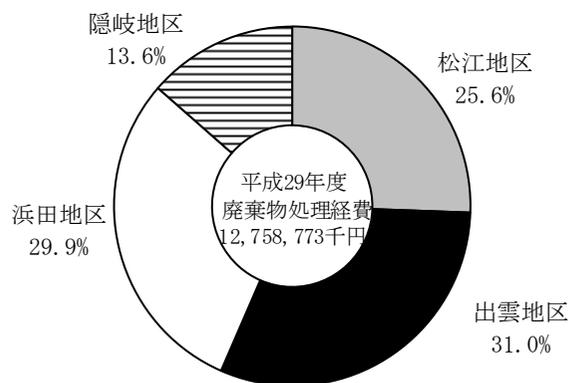


図 7-5 地区別の内訳

7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。
平成 29 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 268 人である。
内訳は、ごみ処理が 228 人、し尿処理が 40 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分		ご み		し 尿		合 計		総 計
		市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合	
一般職	事務系	120	14	12	3	132	17	149
	技術系	27	6	9	3	36	9	45
技能職	収集・運搬	29	0	0	0	29	0	29
	中間処理	18	12	4	0	22	12	34
	最終処分	1	2	0	0	1	2	3
	その他	3	0	5	0	8	0	8
合 計		198	34	30	6	228	40	268

7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。
平成 29 年度末における委託・許可件数は市町村では 395 件、事務組合では 80 件である。

表7-10 委託・許可件数の状況 (単位:件数)

区 分		市町村	事務組合
ごみ	委託業(法第6条)	132	19
	許可業(法第7条)	189	55
し尿	委託業(法第6条)	11	0
	許可業(法第7条)	63	6
合 計		395	80

7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 29 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ごみ	し尿	合 計
業者数	130	44	165

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	1,761	466	7	2,200

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値(ng-TEQ/Nm ³)				
		H29年度 調査結果	H28年度 調査結果	H27年度 調査結果	排出 基準	備考
松江市 エコクリーンセンター	BF	0.0071 0.0012 0.0095	0.0033 0.0055 0.0016	0.00013 0.00023 0.0013	1	
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	0.017 0.024	0.23 0.19	0.15 0.25	5	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	0.0000032 0.00084	0.00044 0.000054	0.0000033 0.00018	0.1	
邑智郡総合事務組合 邑智クリーンセンター	BF	0.17 0.17	0.32 0.32	0.3	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	0.000034 0.000026	0.000037 0.0034	0.0011 0.000022	1	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	0.000050 0.00011	0.00000070 0.0000011	0.000064 0.0072	5	
隠岐の島町 島後清掃センター	BF	2.3 2.3	2.3 2.3	1.4	10	
海士町 海士町清掃センター	BF	0.023	0.018	1.1	5	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	0.1	8.7	0.26	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	0.043	0.037	0.039	—	ごみ燃料化 施設
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	2	10	6	5	

注)集塵方式において、MC=マルチサイクロン、BF=バグフィルター、*=二次燃焼重力沈降方式。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」